

#02 現代版北前船プロジェクト

2012
7.13 金曜日

「天橋立塾・時の響き in 清輝樓」

戦前から清輝樓にたびたび投宿し、天橋立の濃松付近にて野外講義を開いていた吉川英治らの「天橋立塾」を現代に復活。
第1回目は、現代版北前船プロジェクト北海道実行委員会のメンバーを迎え、日本海を舞台とした北前船による交流や、プロジェクトの今後の展望を語り合います。

日時：平成24年7月13日(金) 14:00から16:30

会場：文人墨客の宿 清輝樓 大広間

プログラム：

- 13:15～受付
- 13:30～清輝樓十三代目主人・徳田誠一郎による館内のご案内(希望者のみ)
- 14:00 開会の挨拶

【第1部】 14:10～14:55

基調講演

「小樽と北前船 その歴史と現代版北前船プロジェクトの誕生」

土屋周三(元 小樽市総合博物館館長)

【第2部】 15:00～15:45

座談会

「清輝樓、天橋立塾と現代版北前船プロジェクト」

コーディネーター：河森一浩

パネラー：土屋周三、明楽みゆき、徳田誠一郎

【第3部】 16:00～16:30

「時の響きコンサート」

北前船による宮津と北海道の交流が、音楽を通じて現代に甦ります。

チェンバロ&語り：明楽みゆき フルート：奥野英恵

※イベント終了後、清輝樓の主催で茶話会を開催します。

北前船の歴史や宮津が好きで、まちづくりなど、様々な興味を持つ方々の交流の場となりますようお願いしております。どうぞ、お気軽にご参加ください。

茶話会会費：1,000円/参加を希望される方は、事前にお申し込み下さい

お問い合わせ・茶話会お申込み先：

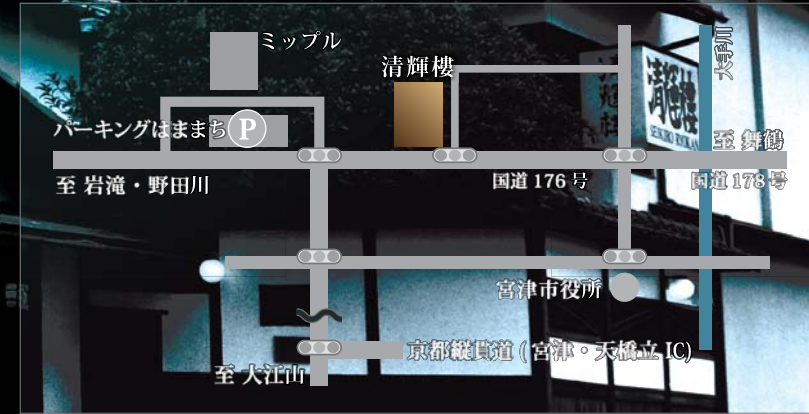
文人墨客の宿 清輝樓 (0772-22-4123)

北前船と日本海

江戸時代後期から明治時代、日本海には北海道と大阪を結ぶ北前船が往来し、海上交通の大動脈として、日本の流通・経済を支えました。特に、津々浦々の寄港地には、北海道のニシンや昆布をはじめ、各地の特産物や情報・文化が行き交い、莫大な経済的な富とともに、豊かな地域文化を育みました。北前船の寄港地には商家や町並みが今も残り、日本海が「日本のメインルート」として繁栄した歴史を伝えています。

江戸から現代へ
歴史・文化・芸術紀行

現代版北前船プロジェクト in 天橋立



お車のナビでお越しの場合は
住所：京都府宮津市魚屋937でお調べになるか、「清輝樓」もしくは「ミッブル」を目印にご来場下さい。
駐車場はパーキングはままちをご利用下さい。

主催：現代版北前船プロジェクト宮津実行委員会
共催：文人墨客の宿 清輝樓
後援：宮津市教育委員会